

すすかけ5月号

令和8年5月 1日
所沢市立若狭小学校
校長 大倉 勉

未来を生きる力を育む ふるさと若狭

元気のもと

始業式からおよそ3週間が過ぎ、新緑のまぶしい季節となりました。1つ学年が上がった子供たちからは、気持ちを新たに「がんばるぞ」という意識が感じられます。通学班の新班長は、何度も振り返りながら、歩く速さに気を付けて先導しています。6年生は、毎朝、視線を低くしながら、優しく1年生のお世話をしています。みんな頼もしいですね。

元気な子どもたちですが、子どもたちの「脳」は疲れている可能性があります。新しい環境に身を置くと、様々な事象を「新しいもの」として認識し、意識的に判断・処理しなければなりません。そのため脳は多くのエネルギーを消耗します。また、脳は常に、周囲の情報をスキャンして「安全か、危険か」を判断しています。そのため、リラックスできず神経が張り詰めた状態になってしまいます。

子供たちには、しっかりと睡眠をとるとともに、「慣れるまでは疲れるものだ」と割り切って慌てずゆったりと生活してほしいと思っています。そして、かくいう私も、実は「脳」が疲れているなと感じることがあります。でも私には、それを吹き飛ばしてくれる「元気のもと」があります。それは「あいさつ」です。朝、登校を見守っていると、若狭小学校の子供たちがあいさつをしてくれます。目を見て笑顔であいさつをしてくれる子、会釈をしてくれる子、遠くから大きな声で「おはようございます」と叫んでくれる子とあいさつの仕方は様々ですが、子供たちのあいさつから、たくさんの元気をもらっています。また、つながりを感じ嬉しく思っています。元気をくれるのは、若狭小学校の子供たちだけではありません。地域の方、保護者の方、中学生や保育園の園児さんもあいさつをしてくれます。毎日のように、地域の温かさを実感しています。もらってばかりでは申し訳ないので、私からも、「元気になれ～」という願いを込めて、これからもあいさつをしていきたいと思えます。

保護者の皆様におかれましては、ご多用の中、4月の授業参観・懇談会にご参会いただきありがとうございました。今後も、日ごろの情報交換を大切にしながら、学校と家庭が協力して子供たちの成長を見守っていければと考えます。連休が明け

ると、運動会に向けて忙しい日々が続きます。子供たちには連休中、しっかりと英気を養ってほしいと思います。ご協力のほどよろしくお願いいたします。